

## 平成 26 年度実施 大網白里市住民協働事業 報告書

<b>事業名</b>	「有償ボランティア」まちサポお助け隊		
<b>事業主体</b>	<b>実施団体</b>	<b>市（関係課）</b>	
	まちサポお助け隊	地域づくり課	

<b>事業費</b>	<b>予算額</b>	<b>決算額</b>	<b>市補助金額（交付決定額）</b>
	971,541円	1,926,708円	299,000円

### 【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、

○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

#### 1、 地域課題

ふだん普通にできていた日常生活ができなくなって困っている人や、脆弱な高齢者、障害者、子育てなどで手助けを必要とする人たちの生活課題に資することを目的に必要な事業を行う。

#### 2、 取り組んだ課題

有償ボランティア

- 介護保険の適用外で生活に困っている生活弱者の支援
- 高齢者世帯で庭の手入れができなく、景観が悪くなっている
- 高齢者が引きこもりにならないような、外出支援
- 子育て世帯、共働き世帯の子供の送迎
- 長期外出による留守宅管理
- 高齢者の生活支援

会運営の強化

- 高齢者の IT 関係の支援協力会員・コーディネーターの入会の推進
- 協力会員の支援時のスキルアップ・研修
- 関連機関、団体との協力体制の構築

#### 3、 事業の効果や成果、波及効果

- 高齢者世帯の自立を支える効果
- 困りごと等の生活課題をもった人に、その人自らの内にある生きる力を引き出すような立場での支援。

- 生活弱者への割安の料金での経済面の支援効果
- 子育て世帯への支援や、精神的な支え
- 体力、気力を残したリタイヤ人材を「地域」課題解消に取り組むことにより、地域との連携と本人の生きがいを創出。
- 会の運営強化により、利用者との安定的・継続的な信頼を構築

#### 4、 住民の満足度

- まちづくりサポートセンターの会員団体・大網白里市協働事業採択団体であることで、安心・安全に利用することができる。
- 有償の支援で会員が報酬を得ることで、支援に責任を持ち、経費の負担も軽減される。 また 利用者にも感謝され、協力会員が生きがいとして継続することができる。手続きが簡単でスピーディな対応であった。
- 利用者も利用料金を払うことで、気兼ねなく依頼することができる。
- 手続きが電話で簡単に申込みができ、迅速に対応できる
- 申込みから集金までドア to ドアで対応します。
- ボランティアの性格を有するため、支援時間、量などで柔軟性を持って対応できる。
- 利用者のニーズに柔軟に対応し、多様な支援の提供が可能。

#### 多くの利用者から、「お助け隊」の支援に対し賛同の言葉を頂きました。

- ① 市民の方は「お助け隊」を知ってほしいと思います。広報にどんどん載せてください。
- ② 対応がとても柔らかで感謝しています。料金が安く助かります。
- ③ どうかいつまでも存続して頂きたいと、切に願います。いつも本当にありがとうございます。
- ④ 急な依頼時も活動できる方がいればお願いしたい。
- ⑤ いろいろなことに応じて、人を派遣してくれるとうれしいです。手芸の得意な方、園芸の得意な方、大工のとくいなかた
- ⑥ 「困った」をサポートしてくれるシステムは本当にありがたいです。私のように、子供がケガで大変な思いをされている方に知って頂きたいと思います。
- ⑦ すぐ実行がとてもよいです。ドライブ等一緒にお願ひできればうれしい。
- ⑧ とても温かい方々なので、大変助かっています。
- ⑨ 家庭にいるのは殆ど老人故、足の不自由をしています。身の回りの用事等お願いしたい。

### 【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<p>1、有償ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活弱者支援</li> <li>● 高齢者、障がい者、子育て世代の生活支援</li> <li>● 高齢者外出支援</li> </ul> <p>2、会の運営強化と合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資金の安定化 (助成事業への応募)</li> </ul> <p>支援活動の拡大と合理化 (コーディネーター養成) (協力会員の研修) (会員間の情報交換・共有化とスキルアップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係機関との協調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の活動の安定化、体質強化を図るための提言と協力</li> <li>・市民への団体活動の広報と継続可能な事業のための、コーディネーター・協力会員募集の協力</li> <li>・関係機関相互間の情報交換の推進</li> <li>・会場提供（可能な限り）</li> <li>・広報紙、ホームページへの掲載(広報協力)</li> <li>・公共施設へのチラシ、ポスターの設置</li> <li>・関係機関との連絡調整</li> </ul>

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p><input type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)</p>

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

	当初の計画	実績
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主に高齢者世帯の生活支援、庭仕事、大工仕事、買い物代行、ペットの世話、介護補助、外出の付き添い、子育て世代の援助、パソコンの困りごと等のボランティア活動</li> </ul>	<p>支援実績は2月末までに1500件を超え、昨年度の支援活動の2倍以上となった。</p> <p>支援区分では代行一般が半数近く、続いて庭仕事や家事の要望が多かった。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会員募集イベント</li> </ul>	<p>6月に協力会員募集イベントを実施し、当日9名の協力会員の参加を得た。</p> <p>以後、市の広報誌による活動PRと協力会員の募集を継続した。これらの効果により、協力会員は総数45名を得、今年度に急増した157名の会員の支援要請に応じた。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定例会議での近況の報告等により問題点、情報の共有化により、支援の均一性を保持</li> <li>● 協力会員の情報共有化のための、IT研修定例総会</li> </ul>	<p>市の協力により広い会場を確保でき、毎月開催できた。</p> <p>総会や定例的な会議を開催することにより、顔を合わせる機会の少ない協力会員の交流の場として、また、支援の均一化をはかる為の情報交換・共有化を図ることが可能となった。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会員のスキルアップ研修（未定）</li> <li>● 協力会員の情報共有化のための、IT研修</li> </ul>	<p>協力会員のスキルアップおよび支援の均一化を図る為、関係機関との情報交換会や草刈り機器使用方法、ボランティア保険の使用方法等の研修を実施した。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務・コーディネーターのためのパソコン</li> </ul>	<p>今年度は支援希望・実績が急増を</p>

	<p>スキルアップのため、パソコン教室受講</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コーディネーター業務改革プログラム</li> </ul>	<p>見せたため、昨年までの経営事務・コーディネーター等の方法では処理が困難になった。これらを大幅に見直し・合理化を検討するために、役員会を毎月・定例的に実施する事とし、コーディネーター業務の検討会を、養成を兼ねて実施した。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「お助け隊」体験入隊イベント</li> </ul>	<p>協力会員の初めての支援活動時にはベテラン協力会員と組み合わせ、体験を実施させた。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政・他団体との協働</li> </ul>	<p>協働事業会議や関連研修会、交流会に参加し、更には関係機関との情報交換を実施した。</p>

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)

#### 【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

1. 役員専用 PC・クラウドコンピューティング（Office365）を整備することにより、依頼案件のスムーズな処理、分析及びPR活動を可能とした。
2. 会員募集に関する市広報誌への掲載やイベントの実施により、団体の認知度が高まるとともに会員も大きく増えた。
3. 草刈り機、バリカン、鎌等農機具の購入により、支援活動の効率化を図れ、実績数の増加に貢献した。
4. ホームページにイベント、会議スケジュール、また、会議議事録を閲覧出来るように掲載し、会員内で不足していた情報の共有化を図れた。その他 対外的にもお助け隊の活動状況を閲覧出来るページを作成できた。
5. 定例会議の場所を安定的に確保出来、会議への参加会員数の増加と安定した会の運営のための情報交換・共有化が可能となり、更には会員のスキルアップのための研修会を多く開催することが可能となった。
6. 団体の安定的発展のため、毎月の定例会議の前に新たに役員会議を開催することとし、会のスムーズな運営を図った。
7. 会員のスキルアップのための研修会や支援現地での新会員の現場指導を実施した。
8. 関係団体間の情報交換・共有化等から、利用者紹介の増加が見られた。
9. 団体の認知度が高まる事により、新しい分野の支援依頼があり、この分野の支援を開拓出来た。

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 強化、活性化した <input checked="" type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由)

**【 ⑤必要性 】**

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

【 団 体 】
<p>団体の今後の方向性や問題点のアドバイス及び将来の会のための指導を受けることが出来た。</p> <p>市の広報誌による広報活動が行え、信頼できる団体としてのPRが出来た。</p> <p>協働事業により、関係課、関係機関との意見交換の場が出来、他団体との情報の交換や共有化が可能となった。</p> <p>関係課、機関との信頼関係を構築出来、これらを通し、利用者の増加に結びついた。</p> <p>定例会議の場所の提供を受け、安定した会議と研修の実施が可能となった。</p> <p>今後は更なる有機的つながりや協力した活動を希望したい。</p>
【市（関係課）】
<p>毎月、市広報紙に団体の活動内容や協力会員の募集を掲載したことにより、団体の認知度を高めることができ、協力会員が増加し、団体基盤の強化につながった。また、継続した団体活動のため、中央ろうきん助成プログラムに応募するなど、市補助金だけではなく、積極的に外部からの資金確保に努めるなど、安定した団体運営を図られた。</p>

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由)